

しろいしし 白石市



お問い合わせ
●白石市市民経済部まちづくり推進課定住促進係
☎0224-22-1327
〒989-0292
白石市大手町1番1号



移住に関するページ



ホームページ

白石市暮らしのデータ

- 人口: 30,287人
 - 世帯数: 13,982世帯
 - 保育施設等の数: 10所
 - 小学校の数: 10校
 - 中学校の数: 5校
 - 病院の数: 3院
 - 一般診療所の数: 20所
- 令和7年4月1日時点

人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまち しろいし

白石市は、西に蔵王連峰を望み、東は阿武隈山系に囲まれ、清流「白石川」が流れる豊かな自然と清らかな水に恵まれた城下町です。市の中心部には忠実に復元されたシンボル「白石城」があり、歴史や自然に恵まれた四季折々のイベントを開催しています。また、平成30年にオープンした白石市移住交流サポートセンター「109-one(トークワン)」では、ライフスタイルに合わせた移住相談や地域のひととの交流を行っています。



〈鬼小十郎まつり〉片倉小十郎重長の大坂夏の陣における活躍と歴史秘話を再現



〈市内散策〉歴史と清流のまちなみ散策

動画もチェック!



生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・電車: 約15分(JR仙台駅～白石蔵王駅(新幹線))、在来線約50分(JR仙台駅～白石駅(東北本線))
- ・車: 約45分(仙台宮城IC～白石IC(東北自動車道)～国道4号)

地域内の
移動手段

- ・電車: 在来線(東北本線)が通り、市内に4つの駅がある
- ・バス: 市民バス(1回乗車200円)のほか、路線バス(白石遠刈田線)とセツ宿町営バスも利用可能
- ・車: 東北自動車道の白石ICまで中心部から約10分

こんな人におすすめ!

交通アクセスが
気になる方

充実した子育て
環境を求めている方

温泉や景勝地など
自然豊かな場所を
探している方

住まい

空き家情報

- 空き家バンクに登録された物件をホームページにて紹介。『空き家をお持ちの方』『空き家をお探しの方』共に、空き家バンク制度へのご登録が必要です(※要件あり)。また、協力事業者による仲介手数料(有料)が発生する場合があります。
- まちづくり推進課 ☎0224-22-1327

住宅取得支援

- 白石市に転入して新築住宅もしくは中古住宅を取得した方へ30万円を補助(市内の建設関連業者を利用した場合は20万円を上乗せ)
- まちづくり推進課 ☎0224-22-1327
- 白石市子育て応援住宅を退去後、3年以内に、市内に住宅を取得し定住した場合、家賃の30%を入居月数分補助
- 建設課 ☎0224-22-1326

家賃補助

- 結婚に伴う新生活のスタートアップに係る費用(住宅取得・住宅リフォーム・住宅賃貸・引っ越し費用等)の一部を補助(基本支給額30万円)(※要件あり)。
- まちづくり推進課 ☎0224-22-1327

その他(住まい)

- 市外の方に住宅取得を紹介した住宅建設関連業者に1件につき20万円(市外業者の場合10万円)の奨励金を支給
- まちづくり推進課 ☎0224-22-1327

子育て

医療助成

- 高校3年生まで保険診療による自己負担なし
- 健康推進課 ☎0224-22-1362

出産支援

- 誕生祝い金・すくすくベビー券20,000円相当のQUOカードPay(第3子以降30,000円相当のQUOカードPay)
- 子育て支援課 ☎0224-26-8836

- 母子手帳交付時に下記の助成券を交付
 - ・妊婦健康診査:14回分(多胎は7回分追加)
 - ・妊婦歯科健康診査:1回分
 - ・新生児聴覚検査
 - ・産婦健康診査:産後2週間時、産後1か月時
 - ・乳児健康診査:2か月児、8～9か月児
- 産後ケア事業の一部費用を助成
- 条件を満たす不妊検査・治療に対して、一部費用を助成(検査:最大3万円、治療:最大5万円)
- 健康推進課 ☎0224-22-1362

子育て支援

- 義務教育終了前の子どもがいる家庭に住宅を提供(3DK・家賃30,500円～)
- 建設課 ☎0224-22-1326

- 第3子以降保育料無料(要件あり)
 - ・保護者の方の入院や通院、学校行事への参加、また、育児疲れによる負担軽減などのため一時的に保育が必要なお子さんをお預かりします
 - ・共働きなどにより放課後に保護者がいない家庭のための放課後児童クラブを実施
- こども未来課 ☎0224-22-1363

- 子育て情報誌“子育てホッとマップ”の配布
- 相談者へ寄り添い、子育て施設や窓口を紹介する子育て支援コーディネーターによる相談受付
- 子育て支援課 ☎0224-26-8836

就学・教育支援

- 遠距離通学をする小・中学生の保護者を対象に以下の金額を補助(小学生4km以上、中学生6km以上。その他要件あり)
- ・交通機関利用の場合→往復運賃の2分の1の額に、通学日数を乗じた額
- ・交通機関利用以外の場合→小学生5,400円/年、中学生9,600円/年
- 学校管理課 ☎0224-22-1342

- 小学校入学祝い金20,000円相当のQUOカードPay(第3子以降30,000円相当のQUOカードPay)
- 子育て支援課 ☎0224-26-8836

仕事

起業支援

- 空き店舗等を改装して起業する際の補助(補助率1/3、上限50万円)
- 創業支援ワンストップ窓口の設置
- 商工観光課 ☎0224-22-1321

相談・体験

お試し住宅・お試し移住

- 市街地と山間部の2棟、移住相談を含めて2泊3日から9泊10日まで無料で利用できる。
- 【移住相談窓口】
白石市移住交流サポートセンター
10:00～17:00(火・水休館)



- まちづくり推進課 ☎0224-22-1327

県南エリア

かくだし
角田市



お問い合わせ
●角田市総務部まちづくり推進課定住交流係
☎0224-63-2112
〒981-1592
宮城県角田市角田字大坊41



移住に関するページ



ホームページ

■角田市暮らしのデータ

- 人口: 26,249人
- 世帯数: 11,503世帯
- 保育施設等の数: 6所
- 小学校の数: 5校
- 中学校の数: 2校
- 病院の数: 3院
- 一般診療所の数: 8所

令和7年4月1日時点

市民力咲き誇る。角田市🌸 ～安心して、いきいきと、誇らしく暮らせるまち～

角田市は、宮城県の南部に位置し、豊かな田園風景が広がる比較的温暖な気候の土地です。主に製造業と農業が盛んで、県南唯一の穀倉地帯として知られており、米や大豆の生産、梅や野菜、果樹などの栽培も盛んです。1年を通して地域資源を生かした「梅まつり」や「ずんだまつり」、「宇宙っ子まつり」などさまざまなイベントが開催されています。大型ショッピングモールや海や山でのレジャー、温泉など、車で1時間以内の場所にあり、休日にもアクティブに過ごすことができます。



〈H-IIロケット実物大模型〉台山公園にある日本で唯一のH-IIロケット実物大模型



〈食の3め(米・豆・梅)〉安心、安全の美味しい角田産の米・豆・梅

生活交通情報

仙台市との距離感

- ・電車: 約50分(JR仙台駅～槻木駅(JR東北本線)～角田駅(阿武隈急行線))
- ・車: 約45分(仙台東IC～山元IC(常磐自動車道)～県道272号線)

地域内の移動手段

- ・電車: 阿武隈急行線が通っており、市内には4つの駅がある
- ・車: 常磐自動車道の山元ICまで車で約15分
- ・市内はデマンド型乗合タクシーを運行していますが、生活上、自家用車の必要性が高い地域です。

＼こんな人におすすめ!／

宇宙・ロケットが好きな方

スポーツ・ウォーキング・体を動かすことが好きな方

田舎暮らし初心者の方
～田舎過ぎず都会過ぎず～



住宅取得支援・家賃補助

- 結婚に伴う経済的負担を軽減するため、婚姻時における年齢が夫婦とも39歳以下の新婚世帯に対し、結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコスト(住宅の取得費用、新居の家賃、引越し費用等)を支援します。

■まちづくり推進課 ☎0224-63-2112



医療費助成

- 通院・入院とも18歳となる年度の年度末まで無料(所得制限なし)

■子育て支援課 ☎0224-63-0134

出産支援

- 妊婦健康診査費助成(公費助成14回)
 - 出産祝金(第1子2万円、第2子以降5万円)
 - 産婦健康診査費助成
 - 産後ケア(通所、宿泊、訪問型)
- 子育て支援課 ☎0224-63-0134

子育て支援

- 保育料を無償化しています。
 - こども家庭センター(愛称:ほっぺ)で妊娠から子育て期にわたり相談に応じます。
 - 産婦人科医・小児科医・助産師にスマホで何度でも無料相談できます。
- 子育て支援課 ☎0224-63-0134

- 子育て支援センターまめっこ(角田児童センター内)にて育児相談、親子の遊び場、子育て講座などを行っています。
- 角田児童センター(子育て支援センター) ☎0224-62-4360

- 中学3年生のインフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症の予防接種料金を一部負担しています。

■健康推進課 ☎0224-62-1192

- 小学校入学前のお子さんとその保護者を対象に、楽しく子育てするコツなどを講師の先生から学びながら、ふれあい遊びを通じた参加者同士の交流を図ることを目的とした子育て応援事業「ふあみふあみ」を実施しています。

- (公財)笹川スポーツ財団や仙台大学から専門的なアドバイスをいただきながら「元気な子どもの育成」を目指す取り組みを行っています。全ての乳幼児に楽しみながら積極的に体を動かす「運動あそび」を提供する取組みとして、『かくだ版アクティブ・チャイルド・プログラム』を実施しています。

■生涯学習課 ☎0224-63-2221

就学・教育支援

- 小学校入学祝子育て応援券支給事業
市内に住んでいる子が小学校へ入学する保護者へ商品券を一人につき3万円支給

■子育て支援課 ☎0224-63-0134

- 不登校児童生徒の学習支援を行う「子どもの心のケアハウス」を設置
- 経済的な理由により小中学校への就学が困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費、入学準備費、校外活動費、修学旅行費等の一部を支給
- 就学のある意味があるにもかかわらず、経済的理由により就学が困難な方に対し、奨学金貸与事業を行っています。(高校生・大学生・専門学校生)

■教育総務課 ☎0224-63-0130

- 小中学校給食費を無償化しています。
- 学校給食センター ☎0224-87-7202



起業支援

- かくだ創業スプラウトが実施する創業支援事業を受けた方で、市内で新たに店舗等を賃借して事業を開始した方に家賃の一部を補助しています。【創業者家賃補助金】

■商工観光課 ☎0224-63-2120

就農支援

- 新規就農者が経営規模拡大を行うための農業機械の導入、施設の導入等の費用の一部を助成します。

補助率:1/3以内 補助上限額:50万円

■農林振興課 ☎0224-63-2119

相談・体験

移住相談窓口

- 移住相談窓口
令和6年3月31日まで角田市地域おこし協力隊として活動していた伊藤由紀さんが角田市移住コーディネーターに着任し、道の駅かくだで移住相談を受け付けています。

■道の駅かくだ ☎0224-61-2850
メールアドレス:michinoeki-kakuda@car-rot.ocn.ne.jp

■まちづくり推進課 ☎0224-63-2112

体験ツアー・交流会

- 体験ツアー
山南地域の自治体と合同で実施予定
- まちづくり推進課 ☎0224-63-2112

その他

結婚支援

- 角田市結婚新生活支援事業
結婚に伴う経済的負担を軽減するため、婚姻時における年齢が夫婦とも39歳以下の新婚世帯に対し、結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコスト(住宅の取得費用、新居の家賃、引越し費用等)を支援します。

- 角田市婚姻推進活動支援事業
結婚を希望し積極的に婚活する人を応援するため、結婚相談所などへの入会費・月会費・成婚料の一部を助成します。

■まちづくり推進課 ☎0224-63-2112

その他

- 阿武隈急行線運賃助成
学校行事や子ども会行事、スポーツ少年団の活動で利用する場合【全額助成】
市内にお住まいの方、市内の企業、学校に通勤・通学されている方が2名以上で同じ行程で利用する場合【半額助成】
- デマンド型乗合タクシー
市内を4つの運行エリアに分けデマンド型乗合タクシーを運行しています。各地域から中心市街地への通院やお買い物に事前に予約して自由に乗り降りできます。
ご利用料金1回乗車 400円(特別運行200円)
- みやぎ県南中核病院までのタクシー料金の半額助成
ご自宅からみやぎ県南中核病院までのタクシー料金の半額(上限3千円)を助成する制度(登録制)を実施しています。
- まちづくり推進課 ☎0224-63-2112

蔵王町



蔵王町暮らしのデータ

- 人口: 10,820人
 - 世帯数: 4,649世帯
 - 保育施設等の数: 3所
 - 小学校の数: 5校
 - 中学校の数: 3校
 - 病院の数: 1院
 - 一般診療所の数: 5所
- 令和7年4月1日時点

お問い合わせ
 ●蔵王町まちづくり推進課
 ☎0224-33-2212
 〒989-0892
 宮城県刈田郡蔵王町大字円田字西浦北10



移住に関するページ



ホームページ

美しい蔵王連峰の山麓

仙台から車で1時間。蔵王連峰の裾野に広がる蔵王町は、有名な「御釜」をはじめ、四季折々の自然が豊かな町。大地のパワーが湧き出る豊富な温泉や、爽やかな高原の空気、水に育まれた新鮮な食材を使ったこだわりグルメ、歴史の面影を偲ばせる名所旧跡など、あらゆる魅力でいっぱいです。

思い立ったらふらっとざおうへ!心の深呼吸しに来ませんか。



〈御釜〉蔵王連峰の象徴「御釜」



〈蔵王の美味しい「梨」〉宮城県内一の生産量を誇る「梨」。直売所でもぎたてを召し上げ!

動画もチェック!

youtube 蔵王移住相談室 で検索

生活交通情報

仙台市との距離感

- ・電車: 約40分 (JR仙台駅～東白石駅 (東北本線))
- ・バス: 約60分 (JR仙台駅～町内停留所6カ所 (高速バス))
- ・車: 約40分 (仙台宮城IC～村田IC (東北自動車道)～県道岩沼蔵王線)

地域内の移動手段

- ・バス: 民間事業者が路線バスを運行している
- ・車: 東北自動車道の白石IC、村田ICまで車で約10分
- ・その他: 路線バスが運行していない地域で循環型乗合タクシーを運行

住まい

住宅取得支援

- 定住促進事業補助金: 移住・定住を目的に住宅を取得 (新築・建売・中古) した人に、新築・建売の場合最大80万円、中古の場合最大50万円の補助金を交付
- まちづくり推進課 ☎0224-33-2212

子育て

医療費助成

- 18歳まで保険診療分全額助成。所得制限なし
- 町民税務課 ☎0224-33-3001

出産支援

- 14回分の妊婦健康診査にかかる費用を助成 (多胎妊娠の方は、14回分の他に6回分の助成を追加交付)
- 保健福祉課 ☎0224-33-2003
- お子さんの出生に第3子目から助成金を支給します。(町内に住所を有している間に生まれた子の人数が3人目以上のとき40万円)
- 子育て支援課 ☎0224-33-2122

子育て支援

- インフルエンザワクチン接種、中学3年生無料。6ヶ月児～中学2年生は、1回につき1千円の自己負担で接種できます
- おたふくかぜワクチン、1回めのみ1千円の自己負担で接種できます
- 子育て支援センターでは、親子で自由にあそべるスペースがあり、子育て講習会など各種育児講座を行っています。育児相談も随時受け付けています
- 市内の認可外保育所に通う保育を必要とする幼児保育無償化対象外の児童に対し、待機児童対策として42,000円を上限とし町こども園保育料との差額を補助
- 町立こども園で0歳～5歳児保育。(幼稚園と保育所の特徴を併せ持つ)
 幼稚園 (3～5歳児): 午前8時30分から午後1時00分、保護者の就労等で保育を必要とする0～5歳児: 午前7時30分から午後6時30分までの保育を実施
 完全給食、おやつ代を除く給食費無償
- 子育て支援課 ☎0224-33-2122
- 町立幼稚園で3年保育 (3歳から5歳)、預かり保育実施 (給食あり。おやつ代を除く給食費無償)
 預かり保育時間: 午前7時30分から午前8時30分、午後1時から午後6時30分
 完全給食、おやつ代を除く給食費無償
- 教育総務課 ☎0224-33-3008

こんな人におすすめ! /

温泉が好きな方

アウトドアスポーツを
楽しみたい方

自然に囲まれて
暮らしたい方

就学・教育支援

- 小・中学校の完全給食実施
- 町育英会による奨学金を貸付
- 経済的な理由で就学に支障をきたす方への就学援助制度があります
- 中学校給食費無償化
- 小・中・高校生への通学費が通学距離に応じて補助されます
- 教育総務課 ☎0224-33-3008

奨学金返還支援

- 前年度中に返還した奨学金を対象に最長5年間、最高60万円を交付します
- まちづくり推進課 ☎0224-33-2212



起業支援

- 企業奨励金の交付(新設・増設等を行った企業に対して奨励金を交付)
- まちづくり推進課 ☎0224-33-2212

就農支援

- 次世代を担う農業者となることを希望する方に対して、投資資金を補助(諸条件あり)
- 農林観光課 ☎0224-33-3004



移住相談窓口

- 住まい・生活・仕事など何でも相談に応じます。相談員は蔵王町に移住した先輩方です
- 蔵王移住相談室 ☎0224-26-6115

その他

結婚支援

- 婚活イベントを行い、これまでイベントで出会った10組のカップルが結婚しています
- 町内に住所のある独身者が負担した、みやまり、みやぎPISAの入会費の2分の1を結婚活動支援事業として補助
- 子育て支援課 ☎0224-33-2122



県南エリア

しちかしゆくまち

七ヶ宿町



お問い合わせ
●七ヶ宿町ふるさと振興課
☎0224-37-2194
〒989-0592
宮城県刈田郡七ヶ宿町字関126



移住に関するページ



ホームページ

■七ヶ宿町暮らしのデータ

- 人口: 1,186人
- 世帯数: 571世帯
- 保育施設等の数: 1所
- 小学校の数: 1校
- 中学校の数: 1校
- 一般診療所の数: 1所

令和7年4月1日時点

豊かさを実感できる 住み心地100点のまち

七ヶ宿町は、宮城県の南西端に位置する自然豊かな町で、宮城県民193万人の命の水となる七ヶ宿ダムを擁する水源の町でもあります。春は水芭蕉、夏は新緑、秋は紅葉、冬は白銀と四季折々の表情に癒されます。JRの駅や高速道のICまで約30分と交通アクセスも便利。そば街道やスキー場に多くの観光客が訪れます。現在、保育料および学校給食の無料化、高校生までの医療費の無料化等の子育て支援事業や住民健診の充実化等の健康推進事業を実施し、乳児から高齢者まで全ての世代が安心して暮らせる「住み心地100点」のまちづくりをすすめています。

📺 動画もチェック!

七ヶ宿町公式Youtube で検索



〈ナナイロレンジャー〉怪人カソカから町を救うためナナイロレンジャーが始動! 町内の活躍している方をPR中。



〈わらじで歩こう七ヶ宿〉毎年8月の末に行われ約400人の参加者で賑わう最大のイベントです。

🚗 生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・電車: 約100分 (JR仙台駅～白石駅(東北本線)+町営バスを利用)
- ・車: 約75分 (仙台宮城IC～白石IC(東北自動車道)～国道113号線)

地域内の
移動手段

- ・バス: 町営バス(1回乗車200円)を運行
- ・車: 東北自動車道の白石ICまで車で約40分

＼こんな人におすすめ!／

四季の変化を感じ
ながら暮らしたい方

充実した子育て支援・
住宅支援を望む方

人と人とのつながりを
大切にしたい方



空き家情報

- 空き家の情報を、町ホームページ「しかし暮らし」で紹介
- 農林建設課 ☎0224-37-2115

住宅取得支援

- 地域担い手づくり支援住宅
40歳までのご夫婦で中学生以下のお子さんがいる世帯対象で、地域の活動に積極的に参加してくれる方向け住宅、住んで20年後に家と土地を無償提供
※募集期間あり。申請後、面接を行い決定
月39,000円+敷金117,000円
- 町内に住宅を新築または二世帯住宅への改修などで、最大300万円を助成
- 農林建設課 ☎0224-37-2115

リフォーム支援

- 空き家のリフォームやバリアフリー化、電気給湯器設置などで、最大100万円を助成
- 農林建設課 ☎0224-37-2115

家賃補助

- 町内の民間賃貸住宅に入居されている方に、月最大25,000円を助成
- 町民税務課 ☎0224-37-2114

住宅関連負担軽減

- 定住促進宅地
40歳までのご夫婦で中学生以下のお子さんがいる世帯対象で、町有地を貸付け、期間内に住宅を建て居住した後、土地を無償譲渡
- ふるさと振興課 ☎0224-37-2194



医療費助成

- 高校3年生まで無料
- 町民税務課 ☎0224-37-2114

出産支援

- 妊婦健診費用・交通費助成制度
- 健康福祉課 ☎0224-37-2331

育児費用負担軽減

- 子育て支援金制度
出生、小・中・高校入学時に支給
第1子総額30万円
第2子総額50万円
第3子以降総額70万円を支給
※七ヶ宿町在住1年以上の方対象
※出生時に七ヶ宿町在住6ヶ月～1年未満の方へは出産祝い金(町商品券)を支給
- 町民税務課 ☎0224-37-2114

- 保育料無料
- 教育委員会 ☎0224-37-2112

- 産婦健診費用助成制度
- 出産のための家族宿泊費助成
- 産後ケア費用助成
- 3歳までのおむつ購入費用助成(月2,000円)
- 乳児の健診助成制度
- 予防接種の無料(定期接種)、一部助成(任意接種)制度
- 健康福祉課 ☎0224-37-2331

就学・教育支援

- スクールバス完備
- 小学校入学時に運動着支給
※転校してきた場合はその都度
- 放課後児童クラブの実施
- 中学校までの学校給食費無料
- 奨学資金の無利息貸付制度
- 教育委員会 ☎0224-37-2112
- 移住定住者向け優遇金利適用ローン制度
- 学生向け格安定期券
- ふるさと振興課 ☎0224-37-2194



就職支援

- 無料職業紹介所として地域に根差した職業を紹介
- 移住・定住支援センター(七ヶ宿くらし研究所) ☎0224-26-6933
- 次世代リーダー育成助成金
若者世代の定住と就業の促進のため30歳未満の方を対象に月20,000円を3年間支給
- 町民税務課 ☎0224-37-2114

起業支援

- 新規の開業や既存事業所の拡大に、上限200万円まで助成(総事業費の2/3)
- ふるさと振興課 ☎0224-37-2177

就農支援

- 新規に就農する方で条件を満たした方に、最大で年間150万円を、最長3年間支給
- 農林建設課 ☎0224-37-2113

就林支援

- 山しごとの相談や林業事業所の紹介等
- 農林建設課 ☎0224-37-2113

町外通勤者応援事業

- 町外通勤者応援事業として町内ガソリンスタンドで使える給油券を支給
- 町民税務課 ☎0224-37-2114

相談・体験



▲七ヶ宿くらし研究所HP

移住相談窓口

- 移住に関する住まいや仕事などの情報を提供
- ふるさと振興課 ☎0224-37-2194
- 移住・定住支援センター(七ヶ宿くらし研究所) ☎0224-26-6933

お試し住宅

- 田舎暮らしの生活体験住宅。週末のみ利用から1ヶ月単位の利用まで可
- 移住・定住支援センター(七ヶ宿くらし研究所) ☎0224-26-6933

自然体験

- 七ヶ宿くらし研究所のホームページに最新情報を掲載。
(例)田植え、蛸観賞、雪遊び
- 移住・定住支援センター(七ヶ宿くらし研究所) ☎0224-26-6933

その他

結婚支援

●結婚新生活応援金

夫婦どちらか一方が40歳未満の夫婦1組につき50万円支給

■町民税務課 ☎0224-37-2114

地域おこし協力隊

令和7年4月現在で6名の協力隊が活動中。豊かな自然の中で地域住民とコミュニケーションを取りながら地域おこしに取り組んでくれる方募集中。詳しくは町公式ホームページをご覧ください

■ふるさと振興課 ☎0224-37-2194

各種検診無料

住民総合健診、骨粗しょう症、乳がん、子宮がん、脳ドックなど検診内容が充実

■健康福祉課 ☎0224-37-2331

住民交流会

移住してきた方同士や地域の方と移住者の方、子育て世代など定期的に交流会を開催中(これまでに郷土料理交流会や移住者交流会、おやこフェス等を実施)移住を検討している方が先輩移住者に話を聞ける会もあり。詳しくは七ヶ宿まちづくり(株)ホームページをご覧ください

■七ヶ宿まちづくり(株)
☎0224-26-6681

■ふるさと振興課
☎0224-37-2194



▲七ヶ宿まちづくり(株)HP



県南エリア

おおがわらまち

大河原町



お問い合わせ

●大河原町政策企画課

☎0224-53-2112

〒989-1295

宮城県柴田郡大河原町字新南19



ホームページ

■大河原町暮らしのデータ

- 人口: 23,217人
- 世帯数: 10,553世帯
- 保育施設等の数: 5所
- 小学校の数: 3校
- 中学校の数: 2校
- 病院の数: 1院
- 一般診療所の数: 16所

令和7年4月1日末時点

ぎゅぎゅつとして、行きたいところに ささっと行ける、おおがわら

大河原町は、奥州街道の宿場町として栄え、現在も多くの商業施設や医療機関、国や県の出先機関が集中するなど、県南の交通・商業・行政の中心となっています。こうした生活の拠点性に加えて、美しい景観も魅力です。町の中心を流れる白石川の両岸には、毎年春にソメイヨシノが咲き誇ります。残雪の蔵王連峰を背景とした大河原の「一目千本桜」は他とは一味違う光景です。ぜひ一度、桜のトンネルを散策しませんか。



〈一目千本桜〉残雪の蔵王連峰を背景とした「一目千本桜」はまちのシンボル



〈おおがわら夏まつり〉半世紀以上の歴史を誇る「花火大会」

生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・電車: 約35分 (JR仙台駅～JR大河原駅(東北本線))
- ・車: 約35分 (仙台宮城IC～村田IC(東北自動車道)～県道14号)

地域内の
移動手段

- ・バス: 路線バス(宮城交通)
- ・車: 村田IC(東北自動車道)、白石IC(東北自動車道)まで約20分
- ・その他: デマンド型乗合タクシーを運行

＼こんな人におすすめ!／

一目千本桜と
暮らしたい方

買い物しやすいまち
に住みたい方

学校、病院、駅、
官公庁の近くに
住みたい方



住宅取得支援

- 次世代型住宅(スマートハウス)助成:環境にやさしく、災害に強い住宅の普及促進のため、太陽光発電設備等を導入し居住する方に費用の一部を助成

■町民生活課 ☎0224-53-2114



医療費助成

- 医療費助成:高校を卒業するまでの子どもの医療費を助成(所得制限なし)
- 子ども家庭課 ☎0224-53-2251

出産支援

- 赤ちゃん誕生お祝い:出生のお祝いとしておむつ3パック、ごみ袋100枚、ベビバスを支給
 - 妊産婦に対し、1万円分のタクシー券を支給
 - 主な健診の助成:妊産婦健康診査の助成(14回)、多胎妊娠への追加助成(13回)、里帰り出産等による県外での妊産婦健康診査の助成、妊婦歯科健診の費用負担
 - 子ども家庭センター:妊娠期から子育て期までのあらゆる相談に対応
 - 不妊検査費、治療費の助成:検査は5万円、治療は6万円を上限に助成
 - 利用者負担金助成:産後ケアは7回、産前産後ヘルパーは10時間、一時預かりは40時間を上限に助成
- 子ども家庭課 ☎0224-53-2251

子育て支援

- 放課後子ども教室:放課後の児童の居場所づくり(小学3年生まで。一部6年生まで対象の学区あり)
- 生涯学習課 ☎0224-53-2758
- 町の子育てに関する情報をまとめた「安心子育てガイド」を配布
- すくすく相談:妊娠・出産・子育てのことなど、幅広い内容を相談受付
- 子ども家庭課 ☎0224-53-2251
- ファミリーサポートセンター:子育てを互いに支え合う会員組織。様々な子育て支援を受けることが可能
- ファミリーサポートセンター ☎0224-51-9960
- 子育て支援センター:子育てに関する相談や講座、サークル活動等、気軽に参加できます
- 子育て支援センター ☎0224-51-9297
- 任意予防接種費用助成:高校受験期の中学3年生に対してインフルエンザの予防接種費用を助成
- 健康推進課 ☎0224-51-8623

就学・教育支援

- 入学準備支援金:小中学校に入学する児童・生徒の保護者へ、支援金2万円を支給
- 経済的な理由により高等学校、高等専門学校又は大学等に就学困難な学生・生徒に対し、町育英会による奨学金を貸付
- 経済的な理由により小中学校への就学が困難な児童生徒への保護者に対し、学用品費・新入学学用品費・修学旅行費等の一部を支給
- 登校が困難な児童生徒の学習支援を行う「子どもの心のケアハウス」を設置
- 教育総務課 ☎0224-53-2742
- 放課後児童クラブ:放課後等に保護者が家庭にいない小学生が対象(小学6年生まで)
- 子ども家庭課 ☎0224-53-2251
- 小中学校給食費を無償化
- 学校給食センター ☎0224-52-6894



起業支援

- 融資:中小企業事業資金の低利融資をあっせん(上限1千万円)
- 相談窓口:町内で起業・創業する方へ商工会、金融機関と連携し相談、支援
- 商工観光課 ☎0224-53-2659

就農支援

- 新規就農者育成総合対策(経営開始資金):一定の条件を満たした新規就農者に対し、最大150万円(最長3年間)を給付
- 農政課 ☎0224-87-6277

その他

結婚支援

- 婚活イベントの開催:新たな出会いの場を提供
- 結婚活動支援助成:宮城県が設置する「みやぎ結婚支援センター(みやマリ!)」及び一般社団法人宮城県青年会館が運営する「みやぎ青年婚活サポートセンター(みやぎPISA)」の入会登録料の一部を助成(上限5,500円)
- 政策企画課 ☎0224-53-2112

移住者たちの声を知りたい方はこちらをCheck! /

M みやぎ移住・交流ガイド

エリア情報や、仕事情報、移住者インタビューなど宮城での暮らしがイメージできるコンテンツ満載です。

<https://miyagi-ijuguide.pref.miyagi.jp/>



宮城県の暮らしをぜひ動画でもご覧ください。



村田町

お問い合わせ
●村田町まちづくり振興課政策推進班
☎0224-83-2113
〒989-1392
宮城県柴田郡村田町大字村田字迫6番地



移住に関するページ



ホームページ

■村田町暮らしのデータ

- 人口：9,756人
- 世帯数：4,113世帯
- 保育施設等の数：2所
- 小学校の数：2校
- 中学校の数：2校
- 一般診療所の数：5所

令和7年4月1日時点

自然と歴史に彩られた、 ほど良く都会に近いまち

宮城県南部に位置する村田町は、自然豊かで穏やかな気候の中、のびのびとした暮らしが楽しめるまちです。東北自動車道「村田IC」が町の中心にあり、仙台市まで車で20分。仕事や買い物、レジャーにも便利な立地で都会へ「ほど良く近い」距離感が魅力的です。

中心部には、江戸時代に紅花貿易で栄えた歴史ある風景が残る「蔵の町並み」が今も残っており、宮城県で唯一、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

また、住宅取得や子育て支援の助成などを通じて、移住してくるご家族や若い世代の新しい暮らしを応援します！

動画もチェック！ 村田町動画 で検索

生活交通情報

仙台市
との
距離感

仙台市への直通高速バスを利用すれば、県庁前・仙台駅前まで約40分と通勤通学に便利。自家用車でも村田ICを利用すれば、仙台駅前まで約30分程度と仙台市まで快適にアクセスできます。

・車：約20分(仙台宮城IC(東北自動車道)～村田IC)

地域内の
移動手段

近隣市町のJR線3駅までは、車で約20～35分の距離。県内の大型商業施設、総合医療施設、仙台空港などへいずれも車で20～50分圏内と、ほど良く近い！町内全域でデマンドタクシーも運行し、高齢者も安心できます。

＼こんな人におすすめ！／

充実した環境で
子どもを育てたい方

都会に近い田舎で
暮らしたい方

歴史ある郷土で
暮らし学びたい方

住まい

空き家情報

●町公式ホームページにて町内の空き家を紹介する「空き家バンク」制度を実施しています。空き家の所有者が物件を空き家バンクへ登録し、その物件を利用したい希望者が町へ利用希望登録をして、安心して両者が協議できるよう町がコーディネートします。(契約行為は当事者間で行っていただきます)

■まちづくり振興課 ☎0224-83-2113

住宅取得支援

●町外からの転入者または子育て世帯の土地購入を伴う住宅取得に対して補助金の交付をします。

町内の土地および中古物件を購入 15万円

町内の土地を購入し、町外業者を利用して新築 30万円

町内の土地を購入し、町内業者を利用して新築 50万円

■まちづくり振興課 ☎0224-83-2113

家賃補助

●子育て世帯、転入世帯、若年夫婦世帯(夫婦いずれか一方が35歳未満)に該当する場合に家賃を優遇する定住促進住宅を完備しています。(間取りは3DKバルコニー付で、月額(は要件により変動))

- ・子育て世帯(子2人) 月額3万1千円
- ・子育て世帯(子1人) 月額3万7千円
- ・若年夫婦世帯 月額3万7千円
- ・転入世帯 月額3万7千円

■建設水道課 ☎0224-83-6407

その他

●子育て世帯・若年夫婦世帯・転入世帯向けの定住促進住宅で「あなたの住みたい!」をサポートします!(家賃は条件により変動します)

■建設水道課 ☎0224-83-6407

子育て

医療費助成

●お子さまが高校を卒業する年度末(18歳に達する年度末)まで、けがや病気で通院・入院した場合に医療機関で支払った保険診療分の自己負担額を町が助成します。

■子育て支援課 ☎0224-83-6405

出産支援

●お子さまお出生時に紙おむつ券又は育児用ススターキット「すくすくくらりんボックス」を贈呈します。(村田町のキャラクター「くらりん」が描かれたススターキットには、出生後すぐに使っていただける用品やオリジナルのグッズがいっぱい入っており、出生届の際にお渡ししています)

内容例:肌着、タオル、食器類など

●お子様が誕生したご家庭を対象に、町指定有料ゴミ袋を60枚贈呈します。

■子育て支援課 ☎0224-83-6405

子育て支援

- 令和4年4月2日以降に生まれたお子様に「子育て支援金」を贈ります。～「子育て支援金」は次の3種類があります～

○満1歳祝い

- ※出生後、本町に最初に住民登録をしてから、満1歳の誕生日を迎えるまで継続して本町に住所のあるお子さま
- 第1子:5万円
- 第2子:5万円
- 第3子以降:10万円

○小学校入学祝い

(令和11年4月から支給開始)

- ※満1歳祝いを受給してから、小学校に入学する年の4月1日まで、引き続き町内に住所があるお子さま
- 第1子:10万円
- 第2子:10万円
- 第3子以降:20万円

○小学校入学支援金

(令和11年4月から支給開始)

- ※小学校入学祝金に該当する児童以外で、小学校に入学する年の4月1日現在において町内に住所があるお子さま
- 第1子:5万円
- 第2子:5万円
- 第3子以降:10万円

- 第3子以降のお子さまに係る保育料等を月額最大5千円助成します。

■子育て支援課 ☎0224-83-6405

- 子育てサークル、子育て相談、一時預かり保育のほか、お子さまの年齢にあわせた事業を子育て支援センターで実施しています。
- 町内小学生対象に、留守家庭児童学級を実施しています。放課後や夏休み等の学校休業日に適切な遊びや生活の場を提供します。

■児童館・子育て支援センター
☎0224-83-3901

就学・教育支援

- 町内に住所があるご家庭で、第3子以降の児童が小学校へ入学する場合、小学校入学祝金を支給します。

第3子以降等の児童1人につき3万円

■子育て支援課 ☎0224-83-6405

- 村田小学校ではスクールバス送迎事業を実施しており、小学校から少し離れた地区にお住いの場合でも登下校時に安全に通学可能(各地区バス停留場あり)

■教育総務課 ☎0224-83-2037



仕事

就農支援

- 村田町に住所を有する認定農業者または認定就農者が施設園芸用ビニールパイプハウスを新設または増設する場合に補助金を交付します。

■農林課 ☎0224-83-6406

相談・体験

お試し住宅・お試し移住

- 村田町武家屋敷は、建築年数が江戸時代末期と推測され、村田城(館)の城下に残る唯一の武家屋敷として、平成6年に町指定文化財に指定されました。江戸時代の風情が残る大変貴重な施設へ、ご家族でゆっくり宿泊してみたいかですか？

詳しくは、株式会社ガイア(☎0224-34-1192)までお問い合わせください。

■まちづくり振興課 ☎0224-83-2113

その他

結婚支援

- 結婚推進事業で出会いの場創出やセミナーを開催しています。独自の少人数開催が魅力の「むら婚」カップリングパーティーでは、高確率でカップルが誕生!!

■町民生活課 ☎0224-83-6401



しばたまち 柴田町



お問い合わせ
●柴田町まちづくり政策課まちづくり推進班
☎0224-54-2111
〒989-1692
宮城県柴田郡柴田町船岡中央二丁目3-45



ホームページ

■柴田町暮らしのデータ

- 人口: 36,182人
 - 世帯数: 16,359世帯
 - 保育施設等の数: 12所
 - 小学校の数: 6校
 - 中学校の数: 3校
 - 病院の数: 2院
 - 一般診療所の数: 16所
- 令和7年4月1日時点

『花のまち』柴田

柴田町は、県域を県都仙台市で二分した県南のほぼ中央に位置し、仙台から25km、仙台空港や東北自動車道・東北横断自動車道村田ICから約10kmの距離にあります。

町の西北部は200m前後の高館丘陵の南端にあたり、町の東南端を阿武隈川、中央部を白石川が流れ、町を二分しています。気候は内陸部に位置しながら海洋性の影響を受け比較的温暖で、県内でも雪の少ない地域です。宮城県で唯一さくら名所100選に選ばれた「船岡城址公園」「一目千本桜」をはじめ、さまざまな季節の花に彩られる「花のまち」です。

▶動画もチェック!▶



〈2つの桜の名所〉宮城県で唯一、「さくら名所100選の地」に選ばれた船岡城址公園と白石川堤の一目千本桜を同時にご覧いただけます。



〈初夏の田園風景〉里山と田畑が織りなす風景とそこに暮らす生き物たちの声が、ゆったりとした時間の流れを感じさせてくれます。

生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・電車: 約30分 (JR仙台駅～JR槻木駅 (東北本線)～東船岡駅 (阿武隈急行線)、JR仙台駅～JR船岡駅 (東北本線))
- ・車: 約40分 (仙台宮城IC～村田IC (東北自動車道)～県道14号～国道4号)

地域内の
移動手段

- ・車: 村田IC (東北自動車道)、白石IC (東北自動車道) まで約25分
- ・その他: デマンド型乗合タクシーを運行

＼こんな人におすすめ!／

花が好きな方

自然も利便性も
両方を求めている方

仙台市及びその近郊で
仕事をしたい方

子育て

医療費助成

- 0歳から18歳到達後の年度末まで入・通院費無料(所得制限なし)
- 子ども家庭課 ☎0224-55-2115

出産支援

- 妊産婦健診(里帰り出産等による県外での妊産婦健診を含む)と予防接種費用の助成、妊婦歯科健診(自己負担無料)、産後ケア事業
- 不妊検査、不妊治療費の一部助成
- 妊婦のための支援給付金(妊婦1人あたり5万円、妊娠しているこどもの人数×5万円)
- 健康推進課 ☎0224-55-2160

子育て支援

- 中学3年生のインフルエンザ予防接種(自己負担無料)
- 健康推進課 ☎0224-55-2160
- 小学校入学準備支援事業により、小学校等に入学する第3子以降の子を養育する保護者に対し、入学祝金を支給
- 教育総務課 ☎0224-55-2134

- 保護者が労働等のため、昼間家庭にいない児童等を対象とした放課後児童クラブの実施(6か所、小学校6年生まで)
- 子育てを互いに支え合う、ファミリー・サポート・センターを組織し、様々な子育て支援を実施
- 子育て支援センターにおいて、子育て相談、各種講座やイベントの開催、育児サークルの支援などを実施。また、親子で遊べる「子育ての部屋」を無料開放
- 町の子育て支援関係の情報をまとめた「しばた子育て支援ガイドBOOK」を配布

- 町からのお知らせや子どもの成長記録、予防接種のスケジュール管理などができるスマートフォン向けの子育て応援アプリを無料配信
- 子ども家庭課 ☎0224-55-2115

就学・教育支援

- 経済的な理由により高等学校、高等専門学校又は大学等に就学困難な学生・生徒に対し、町育英会による奨学金を貸付
- 経済的な理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、学用品費、給食費等の一部を支給
- 学校になかなか足が向かない、登校が困難な児童・生徒及びその保護者を支援し、子どもの学校復帰や自立支援を行う「子どもの心のケアハウス」を設置
- 教育総務課 ☎0224-55-2134

仕事

起業支援

- 創業を考えている方など経営に関する知識を身につけることを目的とした主催セミナーの主催や相談窓口を設置
- 商工観光課(柴田町商工会) ☎0224-55-2123 (0224-54-2207)

就農支援

- 新規就農希望者の相談内容をもとに関係機関と連携し支援。雇用就農希望者には町内の農事組合法人とのマッチングを実施
- 農政課 ☎0224-55-2122

かわさきまち 川崎町



お問い合わせ
●川崎町地域振興課企画係
☎0224-84-2117
〒989-1592
宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175番地1



ホームページ

■川崎町暮らしのデータ

- 人口: 7,807人
- 世帯数: 3,387世帯
- 保育施設等の数: 1所
- 小学校の数: 3校
- 中学校の数: 2校
- 病院の数: 2院
- 一般診療所の数: 2所

令和7年5月31日時点

緑と人をはぐくむ里

雄大な蔵王連峰の東に位置する自然豊かな町であるため、蔵王国定公園などの大自然や多くの一級河川と釜房湖を有し、「緑と人をはぐくむ里」「水源郷川崎町」などの愛称で親しまれています。また、温泉郷、国営公園、キャンプ場などの有名な観光地もあり、年間約100万人近くの観光客が訪れます。地勢は山間盆地ですが、平均気温が約10度と東北地方では比較的温暖な地域であり、高速道路と国道を有し、仙台市と山形市の中間に位置しています。



〈釜房湖と蔵王連峰〉水源郷川崎町の代名詞である釜房湖と雄大な蔵王連峰の共演



〈国営みちのく杜の湖畔公園〉年間約70万人の観光客が訪れる、みちのくの憩いの空間

動画もチェック!

川崎町 動画 で検索

生活交通情報

仙台市との距離感

バス: 約85分(JR仙台駅前～かわさきまち(タケヤ交通)、約70分(JR仙台駅前～川崎町役場前(宮城交通))
車: 約30分(仙台宮城IC(東北自動車道)～宮城川崎IC(山形自動車道)、約45分(国道286号線))

地域内の移動手段

各地区から町中心部へ運行する町民バスが平日のみ1日4往復運行(乗車料金200円)
車: 宮城川崎IC、笹谷IC(山形自動車道)、村田IC(東北自動車道)が最寄りにある地区がある

こんな人におすすめ! /

ふらっと仙台市に行きたい方

自然・農業・温泉が好きな方

子育て支援を重要視する方

住まい

空き家情報

- 川崎町「空き家バンク」をホームページにて紹介
- 移住定住サポートセンター「SPRING」
☎0224-51-8789



住宅取得支援

- 空き家バンクを利用して空き家を取得した方(45歳以下の子育て世帯)へ最大50万円を交付(空き家取得補助金)
新築を取得した方(45歳以下)へ最大30万円を交付(新築住宅取得補助金)
「ようこそ川崎町へ移住定住促進補助金」の詳細や申し込み方法についてはWEBサイトをご覧ください。
- 地域振興課
☎0224-84-2117



リフォーム支援(空き家バンク利用者)

- 空き家の破損箇所を修理またはリフォームした場合にかかった住宅修繕改修費用の50%を補助(上限15万円)
- 空き家に存するごみの処分等を業者へ依頼した場合にかかったクリーニング費用の50%を補助(上限10万円)
- 地域振興課 ☎0224-84-2117

家賃補助

- 空き家バンクを利用して住宅賃借した方へ、家賃3万円を超える部分を36ヶ月補助(上限1万円/月・45歳以下の子育て世帯が対象)
- 地域振興課 ☎0224-84-2117

子育て

医療費助成

- 高校生以下の保険診療分が無料
- 保険福祉課 ☎0224-84-6008

出産支援

- 第1子・第2子に5万円の祝い金及び商品券5万円、第3子からは祝い金30万円
- 妊娠検診費用14回分助成
- 町で出生した満1歳までの乳幼児のいる家庭に対して、ドラッグストア等町内締結店でおむつ等のベビー用品に使える5千円分の助成券を24枚交付
- 保険福祉課 ☎0224-84-6008

子育て支援

- 6ヶ月から12歳まで2回、13歳から15歳まで1回のインフルエンザ予防接種費を助成
- 学務課 ☎0224-84-2308

就学・教育支援

- スクールバスを運行(エリア限定)
- 学務課 ☎0224-84-2308
- 18時まで利用できる放課後児童教室を設置(小学校のみ)
- 幼児教育課 ☎0224-84-5247



就職支援

- 川崎町しごと連絡協議会を設立
合同就職セミナーや就職先の斡旋等を実施
- 地域振興課 ☎0224-84-2117

起業支援

- 創業支援事業計画を策定し、地域振興課を窓口とした創業支援(相談、販路開拓、資金調達等)を実施。認定事業者へは最大30万円の補助金を交付
- 地域振興課 ☎0224-84-2117

就農支援

- 町認定新規就農者が農業経営に必要な機械購入費の50%を補助(上限100万円)
- 農林課 ☎0224-84-2304

相談・体験

移住相談窓口

- 空き家バンクをはじめ、移住定住の相談を地域おこし協力隊がお受けします。
- 移住定住サポートセンター「SPRING」
☎0224-51-8789

お試し住宅・お試し移住

- 【お試し移住施設「ENGAWA」】
SPRING会員に登録していただくことで、最大10日間、無料でご利用できます。
- 移住定住サポートセンター「SPRING」
☎0224-51-8789

体験ツアー・交流会

- 参加者の要望に応えるセミオーダー型のおためし移住ツアーを随時募集しています。川崎町への移住を体験したい方は「SPRING」までお問い合わせください。
- 移住定住サポートセンター「SPRING」
☎0224-51-8789

その他

結婚支援

- 婚活会を年間3回程度実施し、出会いの場を提供。結婚すると祝い金3万円を支給
- 町民生活課
☎022-84-2112(内線1111)

お米のプレゼント

- 空き家バンクを活用した移住定住者へ川崎産ひとめぼれ30kgを3年間プレゼント
- 移住定住サポートセンター「SPRING」
☎0224-51-8789

県南エリア

まるもりまち
丸森町



お問い合わせ
●丸森町子育て定住推進課定住推進班
☎0224-51-9905
〒981-2192
宮城県伊具郡丸森町字鳥屋120番地



移住に関するページ

ホームページ

丸森町暮らしのデータ

- 人口: 11,449人
 - 世帯数: 4,845世帯
 - 保育施設等の数: 3所
 - 小学校の数: 2校
 - 中学校の数: 1校
 - 病院の数: 1院
 - 一般診療所の数: 2所
- 令和7年4月1日時点

水とみどりの輝くまち 丸森

丸森町は、宮城県最南端に位置し、町土の7割を森林が占める緑豊かな中山間地域の町です。気候は年間平均気温が12度と比較的温暖で、四季の移ろいが実感できる暮らしやすい土地です。町内は8地区に分かれており、それぞれ特色あるまちづくりを実施しています。移住定住の総合窓口として「まるもり移住・定住サポートセンター【じゅーぴたっ】」を阿武隈急行線 丸森駅舎内に、開設しています。お気軽にご相談ください。



〈不動尊公園キャンプ場〉
日帰りBBQや川遊びもできる



〈齋理幻夜〉
毎年8月に行われ、絵とろうの灯りが幻想的なお祭り「齋理幻夜」

生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・電車: 約60分(JR仙台駅～丸森駅(阿武隈急行線))
- ・車: 高速道路利用で約70分(仙台～奥州街道(陸羽街道)～長町IC(仙台南部道路)～山元IC(常磐自動車道)～国道113号線～丸森)
一般道のみで約90分(仙台～国道(4号線)～槻木～国道(349号線)～丸森)

地域内の
移動手段

- ・自家用車の必要性は高い
- ・路線バス(6路線)及びデマンド交通あし丸くんが運行
- ・車: 東北自動車道 白石ICまで車で約40分、常磐自動車道 新地IC・山元ICまで車で約20分

こんな人におすすめ! /

自然とふれあいながら
子育てしたい方

起業したい方

アウトドアが
好きな方



空き家情報

- 【空き家バンク】
空き家を売りたい・貸したい方と買いたい・借りたい方のマッチングをしています。
- まるもり移住・定住サポートセンター ☎0224-87-7837

- 【空き家再生支援事業、家財道具等処分・清掃支援事業】
空き家を購入する方・借りる方、空き家を売却・賃貸する所有者が対象の補助制度です。(要問合せ)
- 子育て定住推進課 ☎0224-51-9905

住宅取得支援

- 町内で住宅を取得する場合、対象経費の1/20の額を補助しています。
(上限:100万円)
- ※申請者又は配偶者が45歳未満の方が対象
- ※子育て世帯・新規転入世帯に該当する場合は、加算補助あり
(要問合せ)
- 子育て定住推進課 ☎0224-51-9905

リフォーム支援

- 自己が居住するための住宅をリフォームする場合、対象経費の1/6の額を補助します。
(上限:50万円)
- ※申請者又は配偶者が45歳未満の方が対象
- ※施工者が町内建築業者の場合は、加算補助あり
(要問合せ)
- 子育て定住推進課 ☎0224-51-9905

家賃補助

- 町内の民間賃貸住宅に入居する場合、入居時5万円と家賃一月分の額(上限5万円)を補助しています。
※申請者又は配偶者が45歳未満の方が対象
(要問合せ)
- 子育て定住推進課 ☎0224-51-9905



医療費助成

- 18歳の年度末まで、保険診療の自己負担を全額助成しています。※所得制限なし
- 保健福祉課 ☎0224-72-3014

出産支援

- 【WARASKO(わらすこ) (こども家庭センター)】
妊娠期から切れ目なく子育て世代のみなさんをサポートする拠点です。妊婦さんのサポートや新生児訪問、子育て中の不安やお悩み解消のお手伝いをしています。
- 【妊娠・出産祝金】
妊娠とお子さんの誕生をお祝いし、妊娠祝金(ギフト券3万円)、出産祝金(10万円)をお渡ししています。他に国の妊婦支援給付金があります。
- 【妊産婦健診の助成】
妊婦健診14回分(多胎の場合は6回分追加)・妊婦歯科健診1回分・産婦健診2回分の助成券をお渡ししています。
- 【産後ケア利用料の助成】
産後1年までの母子の身体的・心理的ケアを受けるための利用料を助成しています。
- こども家庭センター ☎0224-87-7521

- 【新生児聴覚検査費助成】
聴覚障害を早期に発見し、できるだけ早い段階で適切な療育を受けられるようにするため、お子さんが生まれた産科医療機関などでおこなう検査です。母子健康手帳交付時に助成券をお渡ししています。
- こども家庭センター ☎0224-87-7521

- 【不妊治療の助成】
不妊検査費、一般不妊治療費および生殖補助医療費の自己負担額を全額助成に加え、先進医療治療費の一部を助成しています。
- 保健福祉課 ☎0224-51-9903

子育て支援

- 【家事・育児支援サービス利用応援事業】
未就学児のいるご家庭の家事代行やシッターなどのサービス利用に使えるクーポンを交付しています。
- 【一時保育利用料の助成】
未就学児をご家庭で保育している世帯に、一時保育利用券をお渡ししています。
- 【まるもりすくすくナビ(母子モ)】
健診や予防接種の日程を忘れないようにアプリがお手伝いします。子育てに関する情報も随時配信しています。
- 【産婦人科・小児科オンライン医療相談】
産婦人科・小児科の医療現場で活躍している医師・助産師によるオンライン医療相談サービスです。丸森町にお住まいの方限定で、無料で何度でもご利用いただけます。
- 【1・3・5歳児に絵本のプレゼント】
健診時に、お子さんの名前入りのオリジナル知育絵本をプレゼントしています。
- 【あかちゃん相談】
出生から1歳6か月までのお子さんを対象に、身長・体重測定や育児・離乳食の相談を行っています。
- こども家庭センター ☎0224-87-7521

- 【保育料・副食費の無償化事業】
保育施設を利用する町内のお子さんにかかる保育料・副食費を無償としています。
- 【放課後児童クラブ】
町内各地区で放課後児童クラブを開設しています。
- 子育て定住推進課 ☎0224-72-3013

- 【任意予防接種の費用助成】
季節性インフルエンザ、新型コロナウイルス、おたふくかぜの予防接種の費用を助成しています。
- 保健福祉課 ☎0224-51-9903

- 【学校給食費の無償化事業】
小中学生の学校給食費を無償としています。
- 学校教育課 ☎0224-72-3035

就学・教育支援

- 【小学校入学祝金】
小学校に入学した児童の保護者に、小学校入学祝金(児童一人につき3万円)を支給しています。
- 【学校指定運動着支給】
小中学校の入学準備に運動着を支給しています。
- 学校教育課 ☎0224-72-3035
- 【子ども学び塾】
小学生を対象とした学習支援塾(子ども学び塾)を町が開設しています。
- 【町営学習塾】
中学生を対象とした学習支援塾を町が開設しています。
- 【各種検定受験料を支援】
小学校4年生～高校生を対象に、各種検定(英語、漢字、算数・数学)の受験料を支援しています。
- 生涯学習課 ☎0224-87-7245



就職支援

- 町内企業と求職者の架け橋になる求人サイト「丸森町のお仕事探し〜Maru Job〜」を開設。求人情報の閲覧だけでなく、求人への応募もサイト内から可能です。

■商工観光課

☎0224-87-7620



起業支援

- 起業サポートセンター「丸森CULASTA」を蔵の郷土館竊理屋敷に開設。起業や経営に関して、メールやオンラインでの相談を随時受け付けているほか、週1回専門スタッフが対面での相談に応えます。
- 町内空き店舗等を活用して開業する方を対象に、改修費及び器械設備費の1/3以内の額を補助しています(上限100万円)。町内業者が施工した場合は1/2以内の額(上限150万円)になります。
- 町内で新たに起業する方を対象に、開業に要する各種申請資料作成費や機械器具・備品購入費の1/2以内の額を補助しています(上限50万円)。

■商工観光課 ☎0224-87-7620

就農支援

- 一定の要件を満たした新規就農者に対し、資金面や設備投資等の補助事業があります。

■農林課 ☎0224-72-2113

相談・体験

移住相談窓口

- 阿武隈急行線丸森駅舎内に開設しています。オンライン移住相談対応可能です。
- まるもり移住・定住サポートセンター
☎0224-87-7837

その他

結婚支援

- 【結婚新生活支援事業】

結婚に伴う新生活にかかる費用を支援します(リフォーム費用、住宅賃借費用、引越費用)。対象は、夫婦ともに45歳未満で、夫婦の双方または一方が丸森町に住所がある夫婦です。

- 【婚活支援】

丸森町に住民登録している20歳以上の方を対象に、町と契約している業者が提供する結婚相手紹介サービスの入会金と月会費を補助しています(1年目1/2補助、2・3年目1/3補助)。また、みやぎ結婚支援センター「みやマリ!」の入会登録料を全額補助しています。(要問合せ)

■子育て定住推進課 ☎0224-51-9905

地域おこし協力隊

- H28.7月に丸森町第1号隊員が着任後、R6.4月までで累計で59名が着任しています。

〈隊員のミッション例〉

- (1)移住定住サポートセンターでの相談業務
- (2)地域資源等を活用し町内で事業を起こす活動
- (3)町の新たな特産品開発、飲食店運営等、地域に根差した交流推進活動
- (4)農業生産、森林整備、直売所支援

■企画財政課 ☎0224-72-3024

東京圏から宮城県に移住される方へ

令和7年4月時点



移住支援金のお知らせ

世帯移住100万円

単身移住60万円

(18歳未満の世帯員の方が一緒に移住される場合は、18歳未満の方おひとりにつき100万円が加算されます。)

主な要件

- 1 移住元 東京23区在住者、または東京圏から東京23区への通勤者※
- 2 移住先 (1)～(5)のいずれかの要件に当てはまる方
 - (1)「みやぎ移住ガイド」に掲載されている対象求人^①に就業した方
 - (2)「みやぎUIターン起業支援補助金」の交付決定を受けた方
 - (3)ご自身の意志で地方に移住し、移住先を生活の拠点として、移住元での業務を引き続きテレワークで行う方
 - (4)専門人材事業を活用して就業された方
 - (5)移住(予定)先の市町村が設定した関係人口^②に該当する方
- 3 移住後 支援金申請後、5年以上継続して居住する意志がある方

※住民票を移す直前の10年間のうち、通算5年以上かつ直近の1年以上、東京23区内に在住、または東京圏(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県(一部地域を除く))に在住し、東京23区内へ通勤をしていた方。

なお、東京23区内の大学等に通学し、23区内の企業へ就職した方については、通学期間も上記対象期間に加算することが可能です。移住支援金の支給要件は、上記の「主な要件①～③」の他にも様々な要件があります。制度が変更となっている場合がありますので、詳しくは移住専用サイト「みやぎ移住・交流ガイド」をご覧ください、最新の状況をご確認ください。

移住支援金Q&A

- Q1 対象者の年齢制限はあるか。

A1 ありません。ただし、移住先要件の(5)「関係人口」に年齢制限が設定されている場合があります。詳しくは各市町村にお問い合わせください。また、18歳未満の世帯員の加算については、申請日が属する年度の4月1日時点において18歳未満の方が対象となります。
- Q2 申請期限はあるか。

A2 移住後、1年以内に移住先の市町村に申請する必要があります。
※申請開始可能時期は移住先市町村によって異なります。
- Q3 移住支援金の使途に制限はあるか。

A3 ありません。
- Q4 移住地と就業地の市町村が異なっても、対象となるか。

A4 対象となります。申請については、移住先の市町村に行ってください。
- Q5 受給後、返還する場合はあるか。

A5 主な返還要件は、次の2点です。
 - ①支援金の申請日から1年以内に対象企業を退職した場合。
 - ②移住後、5年未満で県外へ転出した場合。
- Q6 移住支援金は課税対象か。

A6 所得税法第34条に規定する一時所得に該当するため、課税対象となります。
- 詳しくは [みやぎ移住・交流ガイド](#)